

アンチバイオグラムの活用～尿路感染症



公立昭和病院 2020 年アンチバイオグラム（外来 尿由来分離株）

90%以上の感受性率を青帯、80%以上の感受性率を黄帯として表示しています。

注1) 同一患者からの同一菌は初回分離株のみ対象としています。

対象：外来より提出された尿検体から分離された菌株

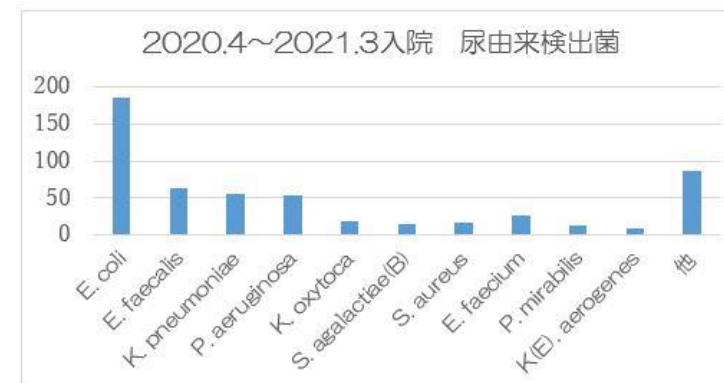
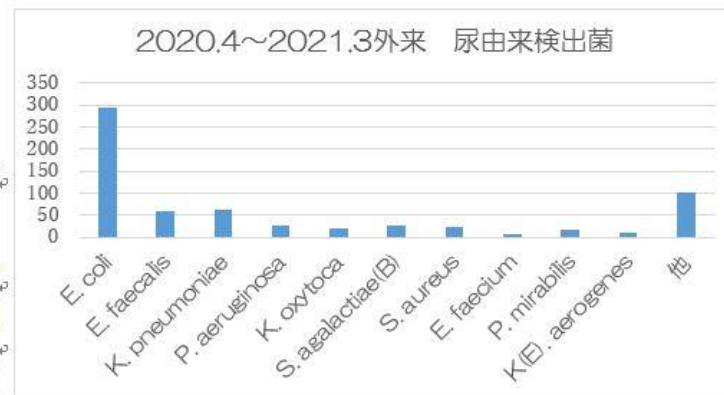
期間：2020 年 4 月～2021 年 3 月（2020 年 4 月より新パネル採用）

CEZ の判定基準：非複雑性尿路感染症

入外	菌名	株数	CEZ	CMZ	CTX	LVFX	ST
外来	<i>E. coli</i>	271	85%	100%	86%	72%	85%
外来	<i>K. pneumoniae</i>	59	92%	98%	92%	98%	92%

※cefazolin 判定基準（M100 S-28～30）

CEZ 判定基準	MIC		
	S	I	R
CEZ(非複雑性尿路感染症)	≤16	—	≥32
CEZ(上記以外)	≤2	4	≥8



単純性尿路感染症：膀胱炎・腎盂腎炎

・原因菌の多くが**大腸菌(*E. coli*)**

大腸菌 (*E. coli*) のアンチバイオグラムを参考に抗菌薬を選択

・セファゾリン (CEZ) は85%の感受性率

・CEZの感受性率を参考に、大腸菌 (*E. coli*) に85%程度感受性を示すことが期待される抗菌薬の選択肢として以下のものがあげられます。

経口薬：セファレキシン：CEX

セファクロル：CCL

静注薬：セファゾリン：CEZ